

令和2年度 第1回 半田市総合教育会議 会議録

開催日	令和2年8月17日(月)		
開催場所	半田市役所 会議室302		
構成委員	半田市長 榑原純夫 教育長 鈴川慶光 教育委員長 榑原肇 教育委員 久米宏和	教育委員 上杉直美 教育委員 新美大香 教育委員 伊藤里香	
構成委員以外の出席者	教育部長 岩橋平武 生涯学習課長 新美恭子	学校教育課長 森田知幸 企画課長 大木康敬	
事務局	学校教育課副主幹 永井徹 同主査 後藤友紀子	同副主幹 田中賢	
協議事項	(1) 第2期半田市教育大綱(案)について		
報告事項	(1) GIGAスクール構想について		

〈 開会 13時00分 〉

事務局 (学校教育課主査)	<p>ただいまから、令和2年度第1回半田市総合教育会議を開催いたします。この会議の構成員は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、市長、教育長、教育委員と定められています。本日は全員にご出席いただいています。</p> <p>それでは、次第に沿って会議を進めてまいります。</p> <p>最初にこの会議の主催者である半田市長からごあいさつをいただきます。</p>
市長	<p>新型コロナウイルス感染症の状況下において、学校を始めとして教育委員会におかれましては、大変ご苦勞されていると思います。また、教育委員の皆様には変わらぬご尽力を賜り、深く感謝いたします。</p> <p>将来の半田市を担う子どもたちへの教育の在り方を示す教育大綱は、本会議で定めることを法律で義務付けられており、今年度が計画期間の最終年度となることから、次年度からの新たなスタートに向け、第2期教育大綱を策定する必要があります。</p> <p>また、この環境下において、ICT教育の推進は、不可欠な要素であり、国のGIGAスクール構想に基づく全小中学生への1人1台端末の整備を速やかに進めていく必要があります。</p> <p>以上のことから、本日のテーマを「第2期半田市教育大綱(案)」及び「GIGAスクール構想」といたしました。</p> <p>魅力ある半田市のまちづくりのため、教育環境の更なる充実のためとして、教育委員の皆様と半田市の教育のあり方について意見交換する貴重な機会として考え、活発に意見交換をさせていただきたいと思っております。</p>
教育長	<p>新型コロナウイルスの影響により、今まで経験したことがない状況が続く、学校現場は子どもたちを始め、教職員も不安を抱え学校生活を送っています。3ヶ月に及ぶ学校休業、夏休みの短縮、教育課程や行事の見直し、</p>

	<p>さらに感染症対策を行いながら学校運営に携わる中、子どもたちには、できる限り不自由をさせないようにと考えています。様々な支援をいただく中、今後もキャリア教育を軸として子どもたちが夢や希望、目標をもって学校生活を送れるように、地域の方々とともに子どもたちの健全育成に努めていきたいと思ひます。また、学校が地域活性化の核となれるように地域と学校が一つとなり、半田市のまちづくりに貢献していきたいと思ひます。</p>
<p>事務局 (学校教育課主査)</p>	<p>ありがとうございます。 それでは、半田市総合教育会議運営要綱第3条の規定により、市長に議事の進行をお願いしたいと思ひます。市長、よろしくお願ひします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは、次第の3、協議事項に入ります。「(1) 第2期半田市教育大綱(案)」について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事務局 (学校教育課長)</p>	<p>第2期教育大綱(案)については、対象期間を令和3年度から令和7年度までとし、第7次半田市総合計画と整合性を図り、総合計画の中間年度に合わせて見直しを実施する予定です。 第2期教育大綱(案)の基本理念としては、「ふるさと半田」を大切にすることを育んでいけるよう教育の推進を目指すものとして思ひます。基本方針としては、第1期教育大綱を継承し、これまでと同様に5つの方針として思ひます。変更点としましては、2つ目の方針に、安心して学校生活を送れる居心地よい居場所づくりに努める旨の記載を追加することにより、現在の相談体制を今後も充実する考えを示しました。続いて、3つ目の方針には、新学習要領に基づく内容として、「主体的・対話的で深い学び」の学習を進めること、ICTの活用を推進するとともに、情報活用能力を育成する旨の記載に変更しました。また、4つ目の方針には、運動に親しむとともに体力の向上をめざす旨の記載を追加し、5つ目の方針には、老朽化施設の建替や大規模修繕を行う旨を記載することにより、今後予定されている学校の建替を進めていく方針を強調する内容に変更しました。</p>
<p>(生涯学習課長)</p>	<p>生涯学習に関する基本理念としては、「だれもが楽しみ、学びでつながる自分づくり ひとづくり まちづくり」とし、いつでも、どこでも、だれでも主体的に学ぶことができ、学びの活動を通して人と人が繋がり、人と地域が繋がることにより、地域社会の発展の原動力とするとして思ひました。 基本方針としては、3つの方針としました。1つ目は、自分づくりの学びの応援として、個々の学びのきっかけづくりを行っていくとして思ひました。2つ目は、個々の学びを広げることとして、人づくりの応援をしていくとして思ひました。3つ目は、まちづくりのための学びの応援として、人と人が繋がり、人と地域が繋がることにより、新たな市民が集う場の提供を行うこととして作成しました。</p>
<p>市長</p>	<p>委員のみなさまからご意見をお願いします。</p>
<p>新美教育委員</p>	<p>対象期間における中間年度の見直しの考え方について、説明をお願いします</p>

	ます。
事務局 (学校教育課長)	第7次総合計画の中間年度に合わせて第2期教育大綱の見直しを実施する予定です。
市長	対象期間については、分かりやすく記載を改めてください。
事務局	記載を改めます。
伊藤教育委員	第1期教育大綱の対象期間を4年としたのは、なぜですか。
事務局 (学校教育課長)	第6次総合計画の最終年度に合わせたため、4年としたものです。
榊原教育委員	老朽化施設の建替や大規模修繕に関する記載がありますが、このたびの新型コロナウイルスの影響を受け、税収が落ち込むことが懸念されますがどのように考えていますか。
事務局 (企画課長)	新型コロナウイルスの影響を受け、税収はいったん落ち込むことが想定されますが、必ず回復すると考えています。厳しい財政状況になるとは思いますが、老朽化した施設の建替等に関しては、しっかりと計画を立て対応していきたいと思えます。
市長	今後の税収の推移により若干スケジュールに変更が生じるかもしれませんが、子どもたちに安心安全な教育環境の提供をするためにも、計画に基づき実施していきます。
上杉教育委員	「子ども同士が自ら学習課題を設定し」との記載がありますが、現状としては、そのことを苦手とする子どもたちもいるため、考慮してもらえればと思います。
事務局 (学校教育課長)	全ての子どもたちにとって手立てができる内容に修正します。
久米教育委員	第1期教育大綱で策定した内容について、推進状況についてどのように整理しているのかを教えてください。
事務局 (学校教育課田中副主幹)	教育大綱に基づき、毎年作成している重点目標において整理しています。
新美教育委員	第2期教育大綱(案)に新たに「自分らしさと夢を育む」「運動に親しむ」等の記載が追加されていますが、その理由について説明をお願いします。
教育長	「自分らしさと夢を育む」については、現在取り組んでいるキャリア教育に絡めた表現に改めたものです。 また、運動については、子どもたちの体力低下が懸念されており、体力向上を図るために記載を追加したものです。

市長	教育委員の皆様からご意見をいただきましたが、本市の教育行政を推進するにあたり、教育長から大切にしたいと考える部分について意見を願います。
教育長	学校が地域の核となるまちづくりが理想と思います。子どもたちが地域との繋がりを深めつつ、伝統や文化を大切にし、さらには、人間関係を大事にして、感謝の気持ちを学ぶことができるような環境づくりをしていきたいと考えます。
市長	皆様からいただきましたご意見を踏まえ、後日、修正したものを教育委員会にてお示しさせていただきます。 続いて、次第の4、報告事項に移ります。「(1) G I G Aスクール構想」について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (学校教育課長)	G I G Aスクール構想とは、新学習指導要領が示す「生きる力」を育む教育を実現するための環境として、1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備していくものです。このたびの新型コロナウイルスの影響を受け、早期実現を図るため、今年度中に全児童生徒に整備する予算に組み直しました。 現在、9月末の完了を目指し、全小中学校の通信ネットワーク工事を進めているところですが、令和3年度から全ての授業においてタブレットを使用するものではありません。
伊藤教育委員	各家庭に対し、通信環境に関するアンケートを実施されたと思いますが、集計状況はどのようになっていますか。
事務局 (学校教育課長)	アンケートは、全ての学校において同一内容で実施し、現在、各学校で集計を行っています。間もなく教育委員会に全ての学校から結果が提出される状況です。また、今回のアンケートにより、各家庭のインターネット環境状況が把握できる予定です。
伊藤教育委員	将来的には、家庭でも利用ができるようになることがよいと考えます。
事務局 (学校教育課長)	現在、自宅に持ち帰った場合や不登校対策での活用、学校休業時での活用など、どのように使用することが好ましいか等を検討しているところです。
久米教育委員	ネット環境が整っていないと回答した方は、どのような理由からですか。
事務局 (学校教育課永井副主幹)	経済的な理由、低学年のためネット利用を不要と考えている、といった理由によりネット環境が整っていないことが考えられます。詳細は、今回の調査では把握できないため、後日、別途調査を行い、理由を確認することになります。

新美教育委員	導入にあたり多くの税金を使用していることから教員には、今後機器の活用をしてほしいと思います。
事務局 (学校教育課長)	今後、スクールサポートスタッフやICT支援員を配置する予定のため、教員への研修を行い、教員が対応できるように支援したいと思います。
榊原教育委員	タブレットを使用した授業風景を見学するなどしてみないとイメージしにくいと思います。
事務局 (学校教育課長)	教育委員には、後日、タブレットを使用した授業風景を見ていただく機会を設定したいと思います。
市長	ただいまいただいたご意見を参考に、半田市におけるGIGAスクールについて進めていきたいと思っています。 続いて、次第の5、その他に移りたいと思います。何かありましたら、ご自由にお願ひします。
全教育委員	(特になし)
市長	今回いただいたご意見を参考に、更なる半田市の教育の推進を目指してまいります。 本日はありがとうございました。

〈 閉会 14時00分 〉